

こちら、海外オートバイサイト探偵団!

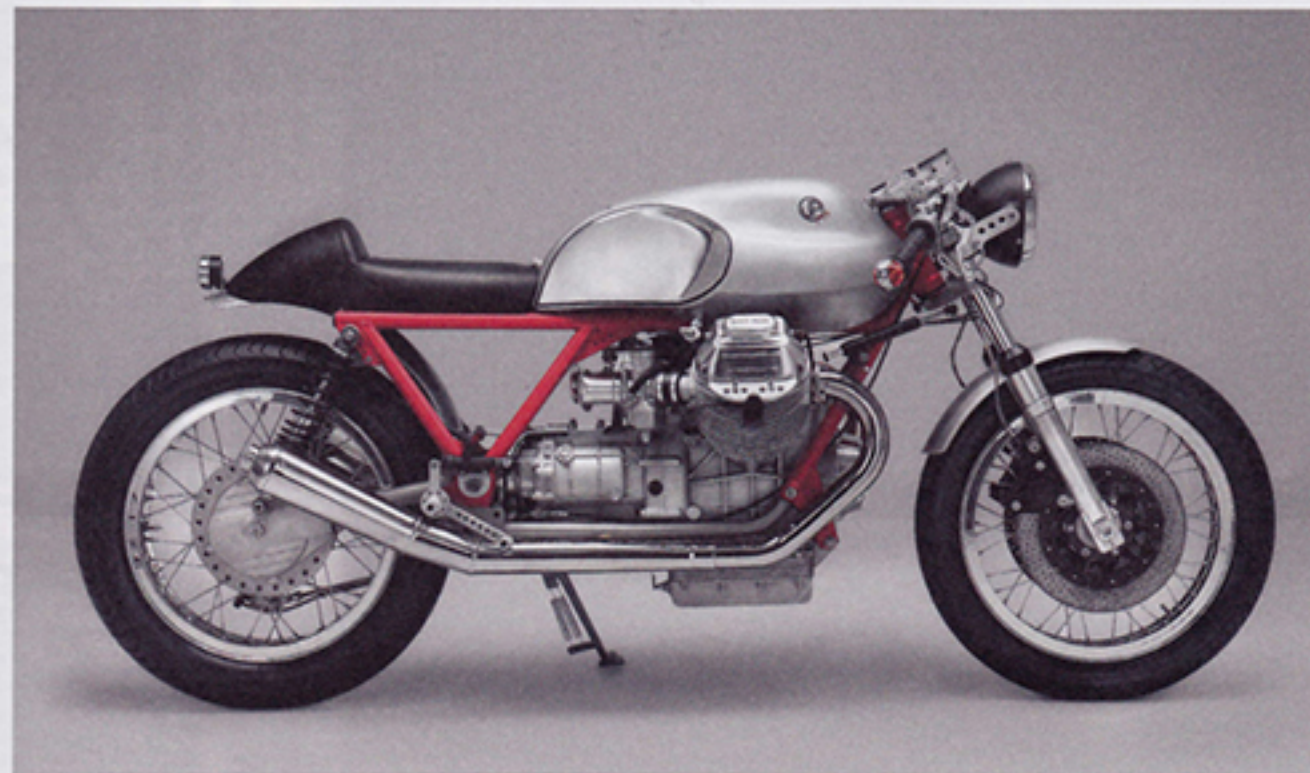
今回は、ドイツ発のグッツィ屋さんにスポットを当ててみました
ちよいちよいグッツィを差し込むのは、筆者の好みが大きく影響しています

※/河野正士

www.kaffee-maschine.net



▶ グッツィエンジンの魅力を倍増させるスタイルとパフォーマンス



ツアラースタイルからの 大胆なスタイル変更

ベースになっているのは、1970年代中期に発売された、丸形ヘッドの850ccエンジン搭載した「T3 カリフォルニア」。このスキニーなカフスタイルからは想像がつかない、ツアラースタイルからのシェイプアップ。外装類はすべて変更。トレンチと呼ばれるダブルクレードルのお手本のようなフレームと丸型ヘッドエンジンを最大限に活かしたカスタムが施されている。ハンドルエンドのウインカーは海外カフスタイルの定番



T3ベースのこのカフェレーサーがTOPページのビジュアルを飾っている [Kaffee Maschine] WEB サイト。

「Kaffee Maschine」は、自分のグッツィのカスタムをきっちりメカニックとなつたアクセル・ブツディさんが、2010年にオープンさせたグッツィ専門店。少し手を加えることで約変するエンジンとシンプルで美しいフレーム、それにレースすらこなすオールマイティなグッツィの秘めたる魅力を、より多くの人に感じてもらうのが使命だと言います。

彼のサイトを見つけて、僕が注視したのはグッツィの、リアまわりの造り込み。フレームをカットしちやってるんですが、シンプルで、軽快で、エレガントにまとまっています。シートエンド下側ラインの跳ね上がり具合とシンクロしたサイレンサーがもう少し長かったり、またフレームラインに合わせた水平ラインだったりしたら、また違った雰囲気になっていたんですけどね、コレ。

喉ごしが良くて、なにに後を引くようなこの感覚、やっぱり作り手が熟考して計算して居るんだなあ、と思います。そのドイツビールのような味わい、僕は大好きですねえ。